

第23週の発生動向 (2006/6/5~2006/6/11)

1. 伝染性紅斑については、五所川原保健所管内で第16週から**警報**が継続して出されています。
2. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内で第19週から**注意報**が継続して出されています。
3. 水痘については、むつ保健所管内で**注意報**が出されました。
4. インフルエンザについては、県全体では横ばいで推移していますが、八戸保健所管内では患者報告数が多い状態が続いていることから引き続き注意が必要です。迅速診断キットにより、弘前保健所管内では、A型:5件、B型:13件、むつ保健所管内ではA型:5件、B型:4件が報告されています。

第23週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	11	0.79	19	1.27	70	5.00	7	1.00	13	1.44	9	1.50	129	1.98	0
(60) 咽頭結膜熱	5	0.56			2	0.22			4	0.67			11	0.26	-7
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.33	19	2.11	9	1.00			8	1.33	12	3.00	60	1.43	6
(62) 感染性胃腸炎	28	3.11	17	1.89	6	0.67	5	1.00	10	1.67	22	5.50	88	2.10	4
(63) 水痘	17	1.89	23	2.56	15	1.67	6	1.20	12	2.00	18	4.50	91	2.17	25
(64) 手足口病	1	0.11			1	0.11	1	0.20	1	0.17	1	0.25	5	0.12	5
(65) 伝染性紅斑	5	0.56	4	0.44	3	0.33	14	2.80	7	1.17	1	0.25	34	0.81	4
(66) 突発性発しん	2	0.22	5	0.56	1	0.11			11	1.83	4	1.00	23	0.55	-6
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															0
(69) ヘルパンギーナ	7	0.78	9	1.00							1	0.25	17	0.40	0
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.56	17	1.89	11	1.22	5	1.00	25	4.17	6	1.50	69	1.64	-27
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎					2	1.00	4	4.00	1	0.50			7	0.64	-7
(59) RSウイルス感染症			1	0.11									1	0.09	-2
(82) マイコプラズマ肺炎					8	8.00							8	1.33	-3

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	14	9	5	2	1
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■は警報 ■は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

(29) つつが虫病(五類全数把握疾患) 五所川原保健所管内:1人 (18年計 6人)

感染症の窓



コレラ

WHOはアンゴラ共和国(アフリカ)において、2006年6月6日時点でコレラ患者の総計が43,076名(死亡患者:1,642名)と流行していることを発表しました(2006/6/9:WHO(EPR))。国内の過去5年間のコレラ報告数は2002年と2004年、2005年が、やや多い報告数となっています(図)。本県においては(感染症発生動向調査)2001年から2006年第23週までの報告数が6名(表)で、推定感染地域は2名が東南アジア、3名が国内、1名が不明でした。血清型と生物学的性状から、O1小川型:2名、O1稲葉型:2名、不明:2名でした。症状は水溶性下痢、嘔吐等です。海外の流行地域においては、生水・生の魚介類等の飲食は避けるようにしてください。

表 青森県におけるコレラ報告数(2001~2006年)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006
青森		2		1		
弘前						
八戸		1				
五所川原	1			1		
上十三						
むつ						
年計	1	3		2		

注:2006年は第23週までの報告数です。

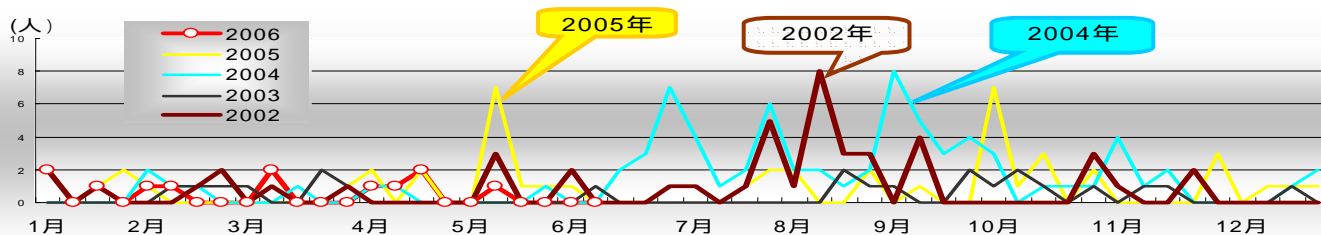


図 2002年から2006年までの全国における報告数